

サール・テッラエ特別奨学金 申請要項

サール・テッラエ特別奨学金は、本学コミュニティを深く豊かにし、卒業後のキャリアにおいて創造的に社会へ貢献すると期待できる学生の修学を支援することを目的とし、2024 年度に新設された返還の必要のない四国学院大学独自の給付型支給奨学金です。

申請方法は以下のとおりです。

申請資格	学校推薦型選抜または総合型選抜（A 日程、B 日程、C 日程）を受験する本学を第一志望とする者で、本学が指定する以下の活動等に積極的関心（重複可）を持ち、そのための深い知性と感性を学修し涵養する資質がある者。 1. 教員（幼・小・中・高・特別支援） 2. 社会福祉（社会福祉士、精神保健福祉士） 3. 保育士 4. 公認心理師 5. キリスト者 6. ピア・リーダー 7. マグノリア学寮 Resident Assistant		
支給額・採用人数	スカラー A：授業料 750,000 円を入学時から原則 4 年間支給（継続審査あり） スカラー B：授業料 500,000 円を入学時から原則 4 年間支給（継続審査あり） スカラー A・B 合わせて 10 名程度		
選考方法	一次審査：グループワーク（60 分）、リーディングスキルテスト※1（50 分）、書類審査 最終審査：インタビュー（30 分）		
申請から採用の流れ	1. 申請 2. 一次審査 3. 一次審査結果通知 4. 最終審査 5. 最終審査結果通知	①8/9(土)、8/24(日)、9/20(土)のうち、一次審査のグループワークに参加する日のオープンキャンパス予約フォームへ必要事項を入力する。 ②サール・テッラエ特別奨学金志望理由書を一次審査実施日の提出締切日迄に郵送する（必着）。 ↓ 予約したオープンキャンパス当日にグループワークおよびリーディングスキルテストを受ける。 <u>◎当日は 11：00 四国学院大学内図書館 2 階メディアルームに集合。</u> <u>(15：00 終了予定)</u> ↓ 8/9（土）、8/24（日）実施は 8 月末までに、9/20（土）実施は 9 月末までに本人に通知する。 ↓ 学校推薦型選抜および総合型選抜（A 日程～C 日程）入学試験当日の試験終了後にインタビューを受ける。 <u>◎最終審査は原則、本学会場</u> ↓ 12 月末までに本人に通知する。	
申請方法	1. オープンキャンパス予約フォームにて必要事項を入力する。（以下の QR コードより入力可能） 8/9（土）  8/24（日）  9/20（土） 		

	2. 四国学院大学ホームページ (https://www.sg-u.ac.jp/) から「受験生の方へ」にアクセスし、「奨学金」の「サール・テッラエ特別奨学金の詳細はこちらから」をクリックし、「サール・テッラエ特別奨学金志望理由書」をダウンロードし必要事項を記入する。 3. サール・テッラエ特別奨学金志望理由書を以下の宛先へ市販の角 2 封筒または、レターパックに封入して<u>以下の提出締切日までに</u>郵送する。 その際に封筒には「<u>サール・テッラエ特別奨学金志望理由書在中</u>」と記載する。※封筒で郵送する場合は<u>特定記録</u>で郵送する。 (送付先) 〒765-8505 香川県善通寺市文京町三丁目 2 番 1 号 四国学院大学入試課宛 (提出締切日) <table border="1"> <tr> <th>一次審査実施日</th><th>提出締切 (必着)</th></tr> <tr> <td>8/9(土)</td><td><u>8 月 1 日 (金)</u></td></tr> <tr> <td>8/24(日)</td><td><u>8 月 18 日 (月)</u></td></tr> <tr> <td>9/20(土)</td><td><u>9 月 12 日 (金)</u></td></tr> </table> 〈注意事項〉 ・ 志望理由書は、<u>ページの拡大・縮小はせず</u>に <u>A4</u> で印刷してください。 ・ 志望理由書の「<u>推薦理由</u>」については、<u>本人をよく知る教員等</u>が記載してください。	一次審査実施日	提出締切 (必着)	8/9(土)	<u>8 月 1 日 (金)</u>	8/24(日)	<u>8 月 18 日 (月)</u>	9/20(土)	<u>9 月 12 日 (金)</u>
一次審査実施日	提出締切 (必着)								
8/9(土)	<u>8 月 1 日 (金)</u>								
8/24(日)	<u>8 月 18 日 (月)</u>								
9/20(土)	<u>9 月 12 日 (金)</u>								
その他	1. 本奨学金の対象者は辞退することができません。 2. 一次審査当日は動きやすい服装で参加ください。オープンキャンパスの無料送迎バスおよびランチ・カフェ体験は利用できます。 3. 本奨学金は、入学金サポート奨学金を除く他の本学支給奨学金および国の修学支援新制度等との併用はできません。なお、国の修学支援新制度に採用され、併せて本奨学金に採用された場合は、年間の本奨学金支給額を超えない範囲で差額分を支給します。 4. 本奨学金と「舞台芸術特別奨学金」は重複申請できません。 5. 本奨学金の採用者は、本学入学後、資格取得をする際のキャリア拡充コース「S スクリーニング」※2が免除されます。 6. 一次審査を複数回受けることはできません。 7. 志望理由書 3 枚目の課題は、コピーすることでマグノリア学寮入寮申込願書の課題と併用使用が可能です。								

※1 リーディングスキルテスト (略称 RST) とは、一般社団法人教育のための科学研究所により実施されている、読解力 (基礎的な「読む」力) を測定・診断するテストです。

※2 教員免許資格 (初等教育・中等教育) 取得コースのみ対象です。

【問い合わせ先】

四国学院大学 入試課 フリーダイヤル 0120-459-433

E-mail info@sg-u.ac.jp

各申請資格の説明	
1. 教員 (幼・小・中・高・特別支援)	四国学院大学では、教員免許状(教諭免許状)は、幼稚園、小学校、中学校(英語・社会・国語)、高等学校(英語・公民・地歴・国語)、特別支援学校(知的)*1の取得が可能です。 現在、職業人として教員に求められているのは、教職に使命感を持ち常に「学び続ける」ことができる人材であるといわれています。教職に就くことを目指し、そして大学生生活の4年間だけでなく卒業後も継続して「学び続ける」ことができるという自信を持っている受験生は、是非、教諭免許状の取得を四国学院大学で目指してください。そして、4年間の四国学院大学での学びと生活を通して、教職への希望を実現する力を培い、他者に奉仕できる教職観を持った人間として成長していただきたいと考えています。 *1 特別支援学校教諭免許状は、現在の教育職員免許法では、幼小中高のいずれかの教諭免許状取得を前提に取得可能となっています。
2. 社会福祉 (社会福祉士、精神保健福祉士)	社会福祉士は、専門的知識及び技術をもって、日常生活を営むのに支障がある方の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供し、その他の関係との連携及び調整等を行う人を言います。主に高齢者、児童、障害者、生活困窮者等、分野横断的に支援を必要とする人々や、複合的な課題をもつ人々を支援の対象とします。職域として、社会福祉施設、福祉事務所・児童相談所等の行政機関、社会福祉協議会等の相談機関、教育機関、保健医療機関、司法機関、矯正施設、NPO法人などがあります。 精神保健福祉士は、主に精神障害者やメンタルヘルスに関する課題がある人を支援の対象とし、社会福祉士と同様の業務を行います。職域としては社会福祉士と重複する職域に加えて、精神科病院等の医療機関、保健所や精神保健福祉センター等の公的相談機関、精神障害者の支援施設等があります。 社会福祉士・精神保健福祉士ともに、大学在学中は積極的に社会的活動にかかわり、大学卒業までに国家試験の受験資格を得ることが条件です。大学卒業後は、社会福祉の現場から、人々や社会に積極的に働きかけ、社会変革の実践にも取り組むことを目指す方を求めます。
3. 保育士	保育士は、保育に関わる専門的知識及び技術をもって、児童の保育と児童の保護者に対する保育に関する指導を行う役割を持っています。対象になる子どもの年齢は、0歳～18歳未満となっており、保育士の専門性を生かす職域は、保育所保育士と施設保育士に分かれます。保育所保育士は、主に保育所等(こども園含む・別途幼稚園教諭が必要)で保育を業務にする保育士です。施設保育士は、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害児支援施設等の児童家庭福祉施設や地域の子育て支援、学童保育等で保育業務をする保育士です。 四国学院大学の保育士養成コースでは、大学での学びを発展させる機会として、地域に向けた子育て支援活動である「こどもひろば」等のイベントを実施しています。学生として、これら様々な活動に対して、創造性と探究心を持って、参加することが期待できる者であり、将来、子どもや家庭に対する支援現場で、保育士として携わることを目指して学ぶ方を求めます。
4. 公認心理師	国家資格「公認心理師」とはなにかを簡単に説明します。周知のように、心の健康は現代社会において重要な問題であり、学校(スクールカウンセラーなど)、医療機関、企業などさまざまな職場において、心理職が求められています。2015年には心理支援を必要とする人々の相談・援助等の業務に従事する者に対して、一定の資質及び適性を図るため、公認心理師法が定められています。 公認心理師資格の取得方法は、次のように定められています。公認心理師資格は、

	大学において省令 25 科目を履修し卒業した後、大学院に進学し更に省令 10 科目を取得し修了する必要があります。本学では「公認心理師プレコース」が設置されており、毎年コース履修を認められた学生たちが学修しています。現在、3・4 年次の「心理実習」では心理職が活躍する現場で実習し、学びの深化を図っています。なお、大学院に進学する以外にも国が定める施設で 2 年以上の実務経験を積むことで公認心理師試験の受験資格を得ることができます。詳細については、次の厚生労働省 HP で確認してください。(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26518.html) 周知のように本学の教育理念は、キリスト教信仰に根ざしています(https://www.sg-u.ac.jp/about/mission/)。したがって、本学の公認心理師プレコースで求める学生像は、本学の建学憲章が求めているように、「奉仕する」公認心理師を志向する学生だといえます。
5. キリスト者	キリスト者とは、洗礼を受けた者、または継続的に教会生活を送っている者を指します。本学は創立以降、キリスト教信仰に基づき、毎週水曜日のチャペルアワーをはじめ、年間を通してさまざまなキリスト教関連の特別行事を企画・運営を学生及び教職員によって行われてきました。具体的には、春学期にはキリスト教信仰を積極的に考える全学行事「クリスチャンウィーク」があり、冬学期にはクリスマスの伝統行事の一つである燭火礼拝が行われます。 本学では、キリスト者として大学生活のさまざまな場面で自身の賜物を発揮する機会が用意されています。奨学生は、教職員と学生で構成される宗教活動委員会のメンバーとして、各学期 1-2 回のミーティングに参加します。また、キリスト教に関係するクラブ・サークル「クリスチャン CC」とも連携し、チャペル（清泉礼拝堂）での諸行事を含む本学の宗教活動に積極的に関わることを求められます。本学の教育理念への理解に努め、「地の塩」としての自覚を持ち、かけがえのない存在として、神と人に奉仕する生き方を目指してください。
6. ピア・リーダー	ピア・リーダーは、キャンパス・コミュニティの構築を目的として、新入生の授業や学生生活のサポートおよび様々なイベントの企画・運営を通じて、キャンパス内の人間関係づくりを促進する学生リーダーです。また、オープンキャンパスや高校招待説明会などにおける「大学の顔」としての役割も担います。 ピア・リーダーになるためには、1 年次の 6 月に面接を経て養成コースに入り、秋学期と冬学期に養成研修を受けます。養成研修終了後に認定されれば、2 年次からピア・リーダーとして活動することになります（任期は 1 年間）。3 年次・4 年次にもピア・リーダー活動を継続するためには、その後も毎年、秋学期と冬学期の養成研修を受ける必要があります。奨学生は、卒業まで活動を継続し、ピア・リーダー組織の中で中心的な役割を果たすことが求められます。
7. マグノリア学寮 Resident Assistant	マグノリア学寮は、厳しい選考を経た奨学生が共同生活を送りながら学びを深める「共に生き、共に学ぶコミュニティ」です。生活と学びが融合したこの環境は、本学の建学の精神に基づいた教育の一環を担う学寮として位置づけられています。学寮生は、学寮生活の中で異なる価値観を持つ仲間と共に協働することで、協調性、問題解決能力、コミュニケーション能力を培います。 Resident Assistant (RA) は、学寮生の中から選ばれ、各階のリーダーとして活動します。RA は、学寮生と教員アドバイザーを繋ぐ役割を担い、相談対応やイベントの調整・運営を行います。併せて学寮の理念を学寮生に伝えることも重要な役割の一つです。RA は 2 年次から応募でき、書類選考と学寮委員会による選考を経て任命され、学寮費や光熱費の免除などの特典があります。RA を希望する方は是非申請をしてください。